



アーリーメディア

アーリーメディア (early media) 機能は、SIP および H.323 コールに対してサポートされます。アーリーメディア (Early Media) は、コールが実際に確立する前に 2 つのユーザエージェントが通信を行う機能です。アーリーメディアのサポートが重要であるのは、1 つは公衆電話交換網 (PSTN) との相互運用性のため、もう 1 つは課金目的です。

アーリーメディアは、コールが正式に接続する前、メディアがフローを開始したときに定義されます。メディアチャンネルは、コール接続の前にセットアップされます。このチャンネルは、発信側に聞こえるが、発信側のエンドポイントやその他のキューイングサービスによって生成されるのではない呼び出し音 (たとえば保留音) を伝えるために使用されます。

アーリーメディアの機能履歴

リリース	変更内容
リリース 3.4.1	この機能は、Cisco XR 12000 シリーズ ルータで導入されました。
リリース 3.5.0	変更なし。

内容

このモジュールの構成は次のとおりです。

- 「[アーリーメディア サポートの制約事項](#)」 (P.345)
- 「[アーリーメディアに関する情報](#)」 (P.346)
- 「[その他の関連資料](#)」 (P.346)

アーリーメディア サポートの制約事項

- SBC は、アーリーメディアのゲートウェイをサポートします (RFC 3960 で定義されているとおり)。
- アーリーメディアは、レイト SDP を送信するエンドポイントとの組み合わせでは動作しません。
- SBC は現在 RFC 3312 をサポートしていません。

アーリーメディアに関する情報

現在の実装では、183 応答コードを通じて、アーリーメディアがサポートされています。着信側が発信側にアーリーメディアを送信する場合、183 応答が送られます。この応答に、SDP が含まれます。発信側はこの応答を受信すると、ユーザの注意を喚起するようなローカルの機能（たとえば、呼び出し音を鳴らす、ポップアップ ウィンドウを表示する）を抑制して、受信したメディアの再生を開始します。183 応答の SDP に、RTCP パケットの送信先となるアドレスが記載されています。

実装の中には、発信側からのメディアを取得し、これを同じく着信側に送信するものもあります。コールが最終的に拒否されると、着信側は 2xx 以外の最終応答を生成します。発信側はこの応答を受信すると、再生、またはメディアの送信を停止します。しかし、コールが許可されると、着信側は（通常、183 応答と同じ SDP を使用して）2xx 応答を生成し、発信側に送信します。メディアの送信はこれまでどおり継続されます。

さらに、SBC はアーリーメディアに関して次のことをサポートしています。

- アーリーメディアのフロー後（コールの接続前および後）にメディアの再ネゴシエーション。
SBC 上でのメディアの再ネゴシエーションは、PRACK メソッドおよび UPDATE メソッドを使用してサポートされます。
- （任意）SIP エンドポイントによる SIP UPDATE のサポート（UPDATE をサポートしないアーリーメディアを含む）
- RFC 3312 の前提条件
- Required、Supported、および Proxy-Require ヘッダーに対する設定可能な SIP サポート。
- Cisco Gateway の非標準 PRACK 動作との相互運用性を可能にする隣接単位のフラグ。

その他の関連資料

次の各項では、アーリーメディアのサポートに関連する参考資料を示します。

関連資料

関連項目	マニュアルタイトル
Cisco IOS XR マスター コマンド リファレンス	『Cisco IOS XR Master Commands List』
Cisco IOS XR SBC インターフェイス コンフィギュレーション コマンド	『Cisco IOS XR Session Border Controller Command Reference』
Cisco IOS XR ソフトウェアを使用するルータを初回に起動し設定するための情報	『Cisco IOS XR Getting Started Guide』
Cisco IOS XR コマンド モード	『Cisco IOS XR Command Mode Reference』

標準

標準	タイトル
この機能でサポートされる新規の標準または変更された標準はありません。また、既存の標準のサポートは変更されていません。	—

MIB

MIB	MIB のリンク
—	<p>Cisco IOS XR ソフトウェアを使用して MIB の場所を特定してダウンロードするには、次の URL にある Cisco MIB Locator を使用して、[Cisco Access Products] メニューからプラットフォームを選択します。</p> <p>http://cisco.com/public/sw-center/netmgmt/cmtk/mibs.shtml</p>

RFC

RFC	タイトル
RFC 2833	『RTP Payload for DTMF Digits, Telephony Tones and Telephony Signals』
RFC 3261	『SIP: Session Initiation Protocol』
RFC 3262	『Reliability of Provisional Responses in the Session Initiation Protocol (SIP)』
RFC 3311	『The Session Initiation Protocol (SIP) UPDATE Method』
RFC 3960	『Early Media and Ringing Tone Generation in the Session Initiation Protocol (SIP)』

シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
シスコのテクニカル サポート Web サイトでは、製品、テクノロジー、ソリューション、技術的なヒント、およびツールへのリンクなどの、数千ページに及ぶ技術情報が検索可能です。Cisco.com に登録済みのユーザは、このページから詳細情報にアクセスできます。	http://www.cisco.com/en/US/support/index.html

